



シルバーだより

# 道標

第22号

令和5.7.25

理事長あいさつ

2

令和五年度定時総会開催  
理事の紹介

2

令和五年度重点目標  
重点目標達成へ向けた取り組み

4

安全・適正就業に向けて  
働く仲間

5

令和五年度表彰者のご紹介

互助会だより

6

趣味の広場

7

新人職員紹介・退職のお知らせ

事務局通信

8

地域と共に未来に輝く

大分市シルバー人材センターを目指して

理事長あいさつ 《新たな任期を迎えて》



理事長  
江藤 郁

二年の任期が終わり、新たに皆様からのご信任をいただき、引き続き理事長の任に当たることとなりました。会員皆様方からの信任に對しまして身の引き締まる思いでございます。

さて、現在、シルバー人材センターが置かれている状況には大変厳しいものがあります。新型コロナウイルス感染症が五類に変更され、その影響が少し和らいだところですが、昨年四月の高年齢者雇用安定法の改正による企業の七〇歳までの雇用の努力義務化、本年十月のインボイスの導入や、来年秋までにフリーランス新法(特定受託事業者(シルバーの場合、会員)へ業務委託する事業者(シルバーの場合、センター)に給付の内

容、その他の事項の明示を義務付ける等の措置を講じる法律)が公布されるとともに、新たな契約方法(発注者と会員が直接契約する方法)の導入も検討されています。

理事会といたしましては、これらの課題に對しまして、正面から向き合い、会員皆様の利益となるように対応してまいり存です。

特に、本年十月に実施を控えておりますインボイス制度につきましましては、本年度は皆様方の負担とならないように特定資産を取り崩して対応してまいりたいと考えております。

最後に、大分市シルバー人材センターの理事会・会員・事務局が一体となり、シルバー事業のより一層の充実・強化に努めることが肝要であると考えておりますので、皆様方の厳しい中にも温かい目でご指導賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

令和五年度 定時総会開催

去る六月七日(水)午後一時三十分より大分市コンパルホール(文化ホール)において令和五年度定時総会が開催されました。五月八日に新型コロナウイルス感染症が五類に移行されたため、実に四年ぶりの通常開催となりました。



総会に先立ち会員表彰式が行われ、受賞された二十六名の方へ理事長より賞状と記念品が贈呈され、受賞者を代表して台博美会員から謝辞がありました。



総会に入り、江藤理事長の挨拶があり、長年にわたりシルバー人材センターの取り組みに貢献をいただき表彰を受けられた会員への感謝と今後のご活躍を祈念するとともに、事務局に課制が導入されたことにより、組織として新たなスタートを切ったことや今後の発展には会員の皆様のご支援が何より大事であることを述べられました。







次に、大分市長 足立信也様、大分市議会議長 二宮博様、大分県シルバー人材センター連合会会長 江藤郁様からの祝電が披露されました。

議案審議に先立ち議長に岡田博行さん(駕野班)を選任し審議に入りました。



第一号議案…令和四年度事業報告について(案) 第二号議案…令和四年度収支決算報告(案)並びに監査報告について 第三号議案…役員を選任について(案)の各議案について、事務局長より説明が行われいずれも原案通り可決承認されました。続いて第一号報告…令和五年度事業計画について 第二号報告…令和五年度収支予算についての報告が行われました。以上全ての議事が終了し、総会を閉会しました。その後、新理事十八名・監事二名の紹介が行われました。



出席されました会員の皆様の多大なご協力により、総会が滞りなく進行されましたことに厚くお礼申し上げます。

### 理事のご紹介

- 理事長 江藤 郁
- 副理事長(大分市) 三好 正昭
- 常務理事 釘宮 祐一
- 理事(大分市) 齊藤 修造
- 理事(剪定部会代表) 深草 秀昭
- 理事(草刈り部会代表) 都甲 堅治
- 理事(福祉家事援助サービス部会代表) 河合伊津子



- 理事(安全・適正就業委員会代表) 幸 義広
- 理事(一地区代表) 吉村正太郎
- 理事(二地区代表) 渡邊 邦治
- 理事(三地区代表) 衛藤 光
- 理事(四地区代表) 渋谷 建治
- 理事(五地区代表) 大野 憲一
- 理事(六地区代表) 宮園 清孝
- 理事(七地区代表) 渡辺 正道
- 理事(互助会代表) 小浦 良雄
- 理事(会員代表) 高橋 豊文
- 理事(会員代表) 白石 郁子
- 監事(会員) 薬師寺 寿
- 監事(会員) 仲矢 吉徳

理事専門部会のご紹介

業務の執行を決定する理事の役割分担は次のとおりです。

●総務部会

規定・規則・要綱に関することと外を協議

- 三好 正昭 釘宮 祐一
- 吉村正太郎 渋谷 建治
- 宮園 清孝 小浦 良雄

●事業部会

植木剪定部会等の部会に関すること外を協議

- 深草 秀昭 都甲 堅治
- 幸 義広 渡邊 邦治
- 衛藤 光 高橋 豊文

●福祉部会

福祉・家事援助サービスに関すること外を協議

- 斉藤 修造 河合伊津子
- 大野 憲一 渡辺 正道
- 白石 郁子



令和五年度重点目標

定時総会の決定を受け、令和五年度の重点目標は、組織力の強化、財政基盤の確立、安心安全な就業環境の確立強化、会員の増強、デジタル化の推進とされています。

《目標数値》

主な目標数値は、次のとおりです。

	目標数値	5月末の実績
会 員 数	1,750人	1,659人
受 注 件 数	9,850件	2,443件
契約金額(請負・委任)	483,000千円	65,928千円
契約金額(派遣)	289,000千円	45,145千円
事 故 件 数	10件以内	4件

重点目標達成に向けた取り組み

① 組織力の強化

事務局や部会の組織強化を図るとともに、会員の意識改革、地域班の充実強化に努めます。

- ・各種研修の実施
- ・業務の効率化の追求

- ・地区班長会、地域班会議の実施
- ・新たな部会の設立の検討など

② 財政基盤の確立

広報の充実を図るとともに、就業開拓員による営業活動を強化します。

- ・地元紙や折り込みチラシによる広報
- ・事業所等への営業活動の強化

と派遣契約への積極的な移行の推進

- ・PR拠点や交流拠点機能の設置
- ・ハローワークや商工会議所などの関係機関との連携 など

③ 安心安全な就業環境の確立

安全・適正就業委員会や部会での安全対策の強化を図ります。

- ・安全標語、ヒヤリハット事例の募集と会員への周知
- ・安全ニュースの毎月発行と安

- ・全意識の高揚
- ・安全パトロールと安全研修の実施
- ・交通事故の防止と安全運転研修の実施 など

④ 会員の増強

理事や会員による会員登録の呼びかけの実施、入会説明会や広告宣伝の充実を図ります。

- ・「一会員一名増強運動」の展開
- ・入会説明会をセンター及び各地区公民館のほか、シヨッピングセンターなどで開催
- ・新聞折り込みや地元新聞広告の実施

- ・女性向けセミナー、教室の開催による入会促進
- ・電話での就業斡旋や求人情報の随時提供、相談窓口の充実による退会者抑止 など

⑤ デジタル化の推進

事務局や会員のデジタル化を推進し、事務手続きの効率化を図ります。

- ・入会説明会用のDVDの作成
- ・ホームページの見直し
- ・スマホ教室、パソコン教室の実施の検討 など

# 安全・適正 就業に向けて

昨年は二十四件の事故が発生しました。

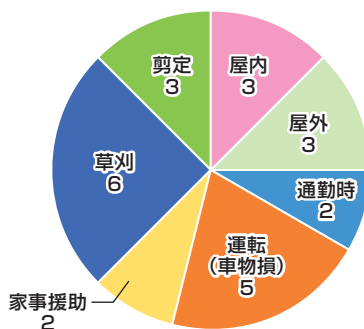
近年シルバールの業務が多様化し、会員の皆様には様々なお仕事が紹介されるようになりましたが、それに比例していろいろな事故も発生しています。言いかえれば業態を問わずリスクは増えているといえます。

事故は油断(うっかり、ぼんやり)、過信(大丈夫、もう少しだから)、安全用具不使用、マンネリ化、慣れなどで起こるといわれています。また事故で多いのは転倒(つまずき、滑り)、転落、ハチ刺され、交通事故、無理な動作、落下、熱中症、飛散物で損壊、器具用具接触による損壊、倒す・ぶつけることの損壊、落下させて損壊、運搬・搬出中の損壊などです。

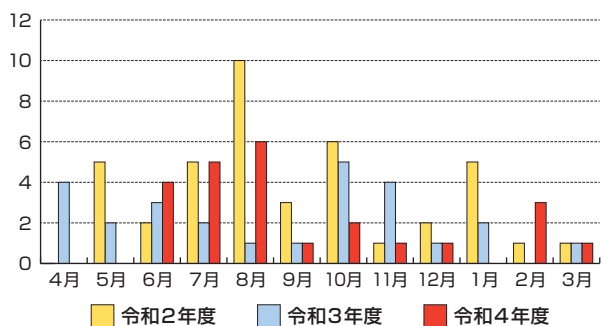


事故は決して他人事ではありません。事故をどのようにして防ぐか、あなた自身の問題として是非お考え下さい。

### 令和4年度業種別事故件数



### 過去3年間の事故発生件数推移



## おめでとうございます



表彰者のご紹介 (順不同)

## 働く仲間

### 【役員表彰者】

理事・監事を六年以上勤め退任された方

台 博美 (寒田B班)

理事十四年

宮崎英子 (賀来C班)

理事十二年

大崎和吉

(横瀬西班) 監事十年  
(城南班) 理事八年

三重野勝

### 【在籍十五年会員】

河野孝之 (明治A班)

河村純子 (三佐A班)

首藤満男 (城南班)

阿南房江 (野津原班)

古長 満 (南大分A班)

薬師寺則夫(田尻A班)

大池律子 (中島B班)

岡田泰治 (東植田A班)

雨辺俊夫 (東植田A班)

佐藤利夫 (川添A班)

加藤忠義 (大在C班)

西イセノ (鴛野班)

西尾政義 (小佐井班)

二宮房子 (金池A班)

津田満昭 (津留班)

大塚宣崇 (明野A班)

井上和男 (寒田A班)

富高鈴子 (城南班)

指原 敦 (丹生班)

### 【地域班長歴任六年以上】

令和四年四月一日〜令和五年三月三十一日の間に退任された班長の内、六年以上勤められた方

渋谷建治 (東植田A班) 九年

深草秀昭 (西の台B班) 八年

佐藤隆男 (舞鶴B班) 七年



# 表彰を受けて

## 十五年の歩み



西尾 政義  
(小佐井班)

四十年の現役を引退して、シルバー人材センター会員となり十五年、久しぶりに人前での表彰、少し緊張しました。

振り返ってみますと、長いようで短かった十五年だったかなーと思います。日吉原体育館の管理人八年、警備保障からシルバー人材センターに移管され最初の管理人を務め、戸締り点検チェックシート、作業マニユアルを作成しました。

次に或る会社でシルバー派遣社員として一・五年ほど就業しました。冬は寒く、夏は暑く高齢者には過酷な現場環境で二年目の夏は、目まい、ふらつく事があり、体力的にふりと悪い担当者に相談し辞退をしました。半年間程なにも就業していなく、新年度からシルバー会員の退会

も考えていた矢先、当時地区班長をしていた会員から「まだ遊ぶのは早い！」と公民館の管理人の仕事を紹介され、今に至り五年すぎました。

以前終業も考えた出来事もありましたが、良き知人に恵まれ感謝、感謝、です。

コロナ感染対策も緩和され、公民館は、利用者も多くなり、子供から高齢者と幅広い年代に利用され、いろんな方と接します。

市民との会話、子供たちと接し、元気をもらい若返った気がします。現役時代に比べ三〜四割の就労ですが決まった仕事、市民の皆さんと会話することで、ボケ防止、認知症の予防になると思います。十五年表彰を期に色々思い出し、よく頑張ったと思います。これからも身体の動く限り頑張ろうと思う次第です。



## 十五年表彰インタビュー



河村 純子  
(二佐A班)

Q シルバーに入ったきつかけは?

A お父さんがシルバーで草刈りをしていたので、お父さん一人で仕事をするのが大変だなーと思い、お手伝いをするため入会を決めました。シルバーでは草取りのほか、家事援助などの仕事もしています。

Q 仕事をしていてよかったことは?

A 発注者から「ありがとう」と言ってもらえる言葉がうれしいです。シルバーに入ってから一緒に仕事をしているうちに友達が出来ました。友達と話をしたりすることが楽しいです。

Q 仕事で困ったことは?

A 高齢化に伴って一緒に草取りができる友達が減っていつているのがさみしいですが、シルバーで知りあった友達と一緒に仕事できて楽しくすごしています。一緒に草取りができる人が増えたらうれしいです。

## 互助会だより

会長 小浦 良雄

約三年間のコロナ禍トンネルの出口がようやく見えてきました。

会員の皆様のうち憤を晴らすがごとく、本年度は、バス旅行をはじめ、各種の行事を計画していますので、ご期待ください。

また、本年度は役員改選があり、新たな役員一同、一致団結して頑張っていきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

新役員は次のとおりです。

小浦 良雄	一万田 精次
吉村 正太郎	岩田 和徳
木下 和子	柴尾 照夫
前嶋 サチミ	山口 順子
木下 友介	山村 光子
徳丸 修	粟田 美智子

# 趣味の広場

## 俳句

「大観」を語る新緑の 美術館  
溼を引き 沖ゆく船に  
夏雲立つ

古希の妻を 労うための

薔薇の風呂

イニシャルは 妻の刺繍の

夏帽子

生野 義晴さん(川添B班)



イラスト「天使」

猪立山 博さん(鶯野班)



池田 弘文さん(荷揚・長浜班)



陶 芸

岩田 定子さん(金池C班)



手提げ

宮田 満寿子さん(東大分C班)

## 新人職員紹介



甲斐 博美

業務課  
派遣班  
令和5年6月着任



津森 真由実

庶務課  
庶務班  
令和5年5月着任



伊東 満里

庶務課  
庶務班  
令和5年4月着任

## 〈退職のお知らせ〉

事務局次長

田部 信雄 (令和五年六月末付)

業務課 剪定・草刈班

志賀 竜洋 (令和五年四月末付)

庶務班

日隈 洋子 (令和五年一月末付)

宗 聡美 (令和五年二月末付)

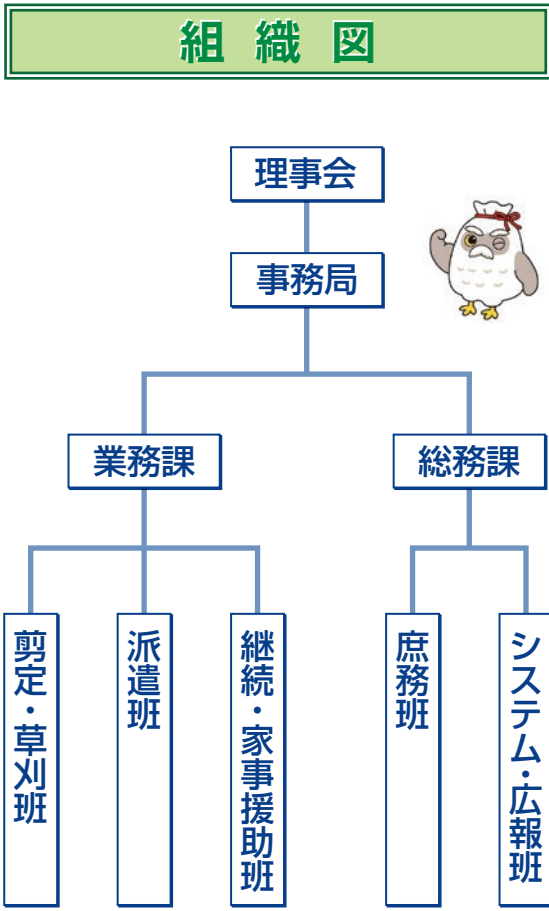


# 事務局通信

## 事務局体制が変わりました

センター事務局は、前年度まで事務局長のもと、庶務、業務、剪定・草刈、福祉・家事援助の四つの班で運営してまいりましたが、本年度から総務課、業務課の二課制に改編し、総務課に庶務班、システム・広報班を、業務課に剪定・草刈班、派遣班、継続・家事援助班を配置して業務を進めています。

総務課では、総会、理事会、地域班や安全適正就業、安全衛生対策、会員の研修、入・退会に関すること及び会員拡大のための普及啓発、広報や業務システム、情報セキュリティなどを担当し、業務課では、剪定・草刈り、家事援助、その他の単発・継続業務や派遣事業など会員の皆様の就業支援に関することを担当し、それぞれの責任の分散化、事務決裁の迅速化を図るとともに、伸長著しい派遣業務の拡充や「デジタル化の推進」を行うこととしています。



## インボイス制度について

課税事業者は、取引先からインボイス（売手が買手へ正確な適用税率や消費税額等を伝える請求書で、適格請求書とも言います。）を発行してもらえないと、仕入税額控除ができないという制度で、令和元年10月から複数税率が導入されたことから令和五年10月から実施されることとなりました。

**影響** 配分金には消費税が含まれるとともに、これまで全ての取引で仕入税額控除が認められていました。令和五年10月からのインボイス制度実施後、シルバー人材センターの会員の多くは、年間課税売上高が一千万円以下のため、免税事業者であり、適格請求書発行事業者とはならないことが考えられます。適格請求書発行事業者とならない場合、シルバーの会員はインボイスを発行できないので、センターは仕入税額控除ができず、消費税を負担しなければならなくなります。

**対応** 令和五年度については会員の負担はなく、特定資産を活用することとします。なお、来年度の取扱いは今後お知らせいたします。

## 編集後記

昨年度の「我が家の防災マニュアル配布事業」では今まで行く機会がなかった東院や木佐上などに行き、大分市の広さを実感してきました。また、会員さんと話す機会がこれまであまりなかったのですが、この事業でいろんな方と出会うことができ、とてもありがたい時間を過ごすことができました。

さて今年度を迎え、事務局は組織変更があり、新鮮な気持ちで仕事を始めています。皆様におかれましては今年もやってくる暑い夏に向けて体調に気を付けて就業していただきませう、よろしく願っています。

### ● 会報編集委員

- 釘宮 祐一・森永 徹
- 村山 剛・那賀 美保

## 道標 第22号

●発行/令和5年7月25日  
 ●発行所/  
 公益社団法人大分市シルバー人材センター  
 〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号  
 TEL 097-538-5575  
 FAX 097-538-5576

ホームページのご案内  
<http://oita.o-sjc.com/>

